

越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



令和七年、寿福無疆。

巳年は再生と復活の年―。

へびは脱皮を繰り返して大きく育ちます。

福の神 大国さまをお参りして、新たな活力と

ご加護をいただきましょう。

一月・二月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日／一月は十三日のみ）

歳旦祭（一月一日）

元始祭（一月三日）

昭和天皇祭（一月七日）

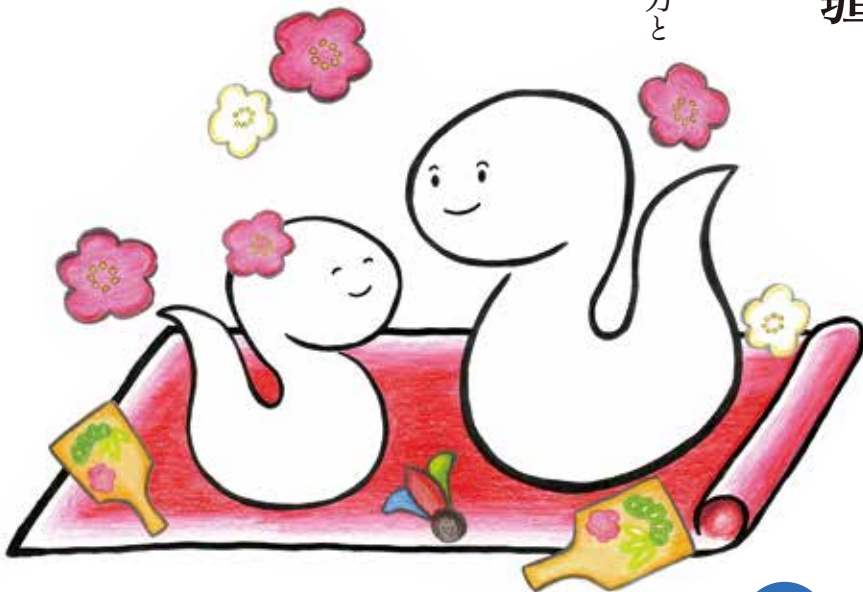
天神祭（二月二十五日）

節分祭（二月二日）

紀元節祭（二月十一日）

祈年祭（二月十七日）

天長節祭（二月二十三日）



じゅふくむきょう
寿福無疆…長寿と幸福が永遠に続きますように。



「乙巳の年頭にあたり」

宮司 藤井秀嗣

令和七年乙巳のお正月を迎え、皇室の弥栄、国家の隆昌、氏子崇敬者各位のご多幸をお祈り申し上げます。

昨年を振り返ると、元日夕刻に発生した「能登半島地震」に始まり、線状降水帯、また、台風も次々と発生しました。さらには気温の高い日が立冬まで続くという近年にない自然災害多発と異常気象の年でした。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をご祈念申し上げます。

また、事件も多く起こりました。詐欺や闇バイトなど、大金を振り込ませたり、窃盗に入ったり、ニュースにならなかつた日はないくらいでした。段々と物騒な世の中になってきていることを実感した一年でした。どちらかといえば暗いニュースが多い中において、嬉しい話題もありました。パリオリンピックでもは、日本選手がたくさんのメダルを獲得しました。また、アメリカ大リーグにおいては、大谷翔平選手が史上初のホームラン五〇

本と五〇盗塁を達成しました。どちらも日本人として誇らしい気持ちにさせてもらいました。

斯界においては昨年、来る令和十五年に伊勢の神宮にて行われる「第六十三回神宮式年遷宮」御齋行について、天皇陛下より御聴許（お許し）を賜りました。千三百年以上の長い歴史を持つ御遷宮は私たち日本人の誇るべき伝統の祭事であり、国民の真心を結集して無事に齋行しなければなりません。いよいよ動き出す大切な年となった今年の「巳年」は、蛇の年です。蛇は脱皮を繰り返し成長するので、巳年は「復活と成長の年」「新しいことが始まる年」「希望に満ちた年」といわれています。このような年に御遷宮の準備が始まるということは誠にタイミングの良いことでもあります。

巳年ということに因めば、神社の拝殿に四神旗という旗が掲げられており、その旗の一枚に蛇を見ることが出来ます。青龍・朱雀・白虎・玄武の順で並べられ、それぞれの方角を表し

ています。蛇は玄武（亀に蛇が巻きついている姿）という旗に描かれており、方角は北で、水の神とされています。初詣の際に探してみてください。北へ向かわれる方や水を扱う仕事の方など、新たな力をいただけるかもしれません。

信仰上からなのか、趣味からなのか分かりませんが、ペットとして蛇を飼っている人がいます。その蛇の色や大きさはさまざまで、大人しく安全なタイプから毒蛇のような危険なタイプまで多種多様なそうです。一般的にはきれいな色をした蛇は毒蛇といわれます。その美しさにペットにする人もいるようですが、たまたま脱走して大騒ぎになることがあります。美しいものには毒があるといわれるように注意が必要です。闇バイトは美味しい条件に騙されて罪を犯してしまうのですが、美しいものや美味しいもの（話）には注意が必要ということですね。今年には行動を起こす前によく調べ、慎重に進むように心がけましょう。美しいものに目がくらない状況にならないように気を付けたいものです。今年もよろしくお願い申し上げます。



謹賀新年

令和七（乙巳）年
皇紀二六八五年

- | | | | | | | | | | | | |
|----|------|-----|------|----|------|------|------|-------|------|----|------|
| 宮司 | 藤井秀嗣 | 権禰宜 | 岩田智典 | 巫女 | 源 結羽 | 支參配人 | 中井直美 | カランカク | 辻 百華 | 囑託 | 上口友子 |
|----|------|-----|------|----|------|------|------|-------|------|----|------|

新嘗祭齋行

— あわせて篤農家表彰並びに感謝状授与式 —

立冬まで続いた暖かさも、一転身の引き締まる冬の空気に入れ替わった十一月二十三日、その年の五穀豊穡を大神様に感謝し、氏子崇敬者の益々の繁栄を祈念する、令和六年最後の大祭「新嘗祭」を斎行しました。

国の産業の隆昌を祈って

農作物の豊かな稔りをはじめ、あらゆる産業の発展と繁栄に感謝する、一年間の中でも特に重要な祭事であるこの「新嘗祭」、ご神前には、地域の皆様からご奉納いただいた米・野菜など、農作物がうず高く供えられました。



令和六年

の参向使は、いなば農業協同組合より堂田伸俊常務理事、「献穀の儀」は本年度献穀田奉耕者 中田幸礼氏、井波地域農業者会 会長 西村精志氏、同副会長 岩崎宏志氏にご奉仕いただきました。

祭典に引き続き、篤農家表彰式を行い、前出の中田氏に感謝状、また、森田憲二氏、西村博氏がそれぞれ農事功労者表彰を受けられました。



九月十六日、今年で六十二回目となる「奉納剣道大会」を開催しました。毎年、秋空のもと高瀬神社の境内にて行われる本大会ですが、本年は天候不良の為、井波社会体育館での開催となりました。会場には例年と変わらぬ、熱い剣さばきの音と元気な声援が響き渡りました。

【団体の部】

- ▽小学生男・女
 - ①井波剣道スポーツ少年団
 - ②福野剣友会
- ▽中学生男子
 - ①庄西中学校
 - ②井波中学校
- ▽中学生女子
 - ①出町剣道クラブA

【個人の部】

- ▽小学生男子
 - ①高橋 佑心 (井波スポ少)
 - ②木谷 蒼翼 (井波スポ少)
 - ③武岡 空吾 (井波武道館)
- ▽小学生女子
 - ①高田 武 (井波スポ少)



第62回 剣道大会 開催



- ▽小学生女子
 - ①高島 和花 (井波スポ少)
 - ②齋藤 舞子 (福野剣友会)
 - ③宮島 愛心 (福野剣友会)
- ▽小学生男子
 - ①ベック・ジュニア (庄西)
 - ②高田 真聖 (庄西)
 - ③小西 夢翔 (井波)
- ▽中学生女子
 - ①高島 吉生 (井波)
 - ②高島 吉生 (井波)
 - ③高島 吉生 (井波)
- ▽中学生男子
 - ①重原 紗希 (庄川)
 - ②照井 菜那 (出町クラブA)
 - ③野原 歩華 (出町クラブA)
- ▽高校生男子
 - ①朝倉 昌秋 (南砺福野)
 - ②藤森 颯 (南砺福野)
 - ③山上 直優 (南砺福野)
- ▽高校生女子
 - ①大谷 葉子 (南砺福野)
 - ②遠藤 沙希 (南砺福野)
 - ③池田 華音 (南砺福野)





献穀田だより

の御恵みに感謝しつつ、たわわに穂った稲穂を、ひと株ひと株丁寧に刈り取りました。収穫された稲は、当神社の新嘗祭、また「懸税」として伊勢の神宮の神嘗祭に供えられました。



抜穂祭齋行

― 大神様に豊作を感謝 ―
九月十五日、高瀬神社献穀田において「抜穂祭」を齋行しました。当日は五名の早乙女が、大神様

明治節祭齋行

― 末永い世界平和を祈って ―

ひさかたの
空はへだてもなかりけり
地なる國は境あれども

明治天皇御製「天」(明治三十九年)
(口語訳)
大地に国境があっても
空を隔てるものは何ひとつない

「文化の日」として広く国民に親しまれる十一月三日は明治天皇の御生誕の日です。これを祝い「明治節祭」を齋行し、あわせて世界の平和と国の隆昌、そして皇室の弥栄を祈念しました。



神宮初穂曳に参加

十月十六日、伊勢の神宮で行われた「初穂曳」に参加しました。初穂曳は神宮の神嘗祭を祝って行われ、その年の新穀の

稔りに感謝し、お初穂を積んだ奉曳車に結ばれた綱を大勢の奉仕者で引いて、神宮のご神域まで運ぶ伝統の神事です。今回参加された皆様は、本年の奉耕をご担当いただいた農事組合法人勸学院から中田幸礼氏、中嶋幸之丞氏、新型ウィルス感染症の影響で参加を見送った令和二年からの奉耕者、青山雄一郎氏、谷川徹氏、波能治男ご夫妻。前日には神宮徴古館、農業館、美術館など、神宮の由緒や祭事を学ぶ施設を見学し、二十一年に一度行われる式年遷宮の歴史と伝統にふれました。次回、第六十三回神宮式年遷宮は、令和十五年の秋に行なわれます。



外宮正宮前にて



内宮宇治橋前にて



お初穂を積んだ奉曳車と

祭事暦

《令和七年》

七月 七日	七月 二十一日	七月 中齋行予定	八月 十六日	九月 十三日	九月 二十三日	十月 五日	十月 十七日	十一月 三日	十一月 十三日	十一月 十五日	十一月 二十三日	十二月 三十一日			
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全			
除夜祭	七夕祭	夏越祭	稲荷社例祭	風宮例祭	祈年祭	昭和祭	春祭	鎮火祭	天長祭	祈年祭	紀元祭	節分祭	昭和三十九年祭	元旦祭	歳旦祭

◎毎月一日・十三日 月次祭
◎毎月十三日 交通安全祈願祭



七五三祝祭

お子様の成長を祈って

さわやかな秋風が空をわたる十一月十五日、お子様の無事の成長を大神様に感謝し、今後益々の健康と幸せを祈念する七五三祝祭を斎行しました。

三歳の「髪置き」、五歳の「袴着」、七歳の「帯解き」の儀式を起源とする、古くよりわが国に受け継がれる七五三詣。お参りのお子様たちは大神様のやさしさに包まれて、元気にお育ちになることでしょう。

注連縄奉納奉告祭

注連縄に願いをこめて

高瀬神社「注連縄奉納講」では毎年、清々しく新年を迎える為に、その年一年間社殿に掛けられる、新しい注連縄を奉納しています。

注連縄の奉製を担当したのは、海外でも活躍する射水市の株式会社縄合屋。代表の折橋由紀氏をはじめ職人の皆さんにより、その材料選びから掛け替えに至るまで、心を込めて仕上げてくださいました。



直径十七センチの見事な一文字注連縄

この美しい注連縄には、ご奉納いただいた皆様の祈願紙が一枚一枚心を込めて纏い込まれており、今年一年間大神様のおそば近くに掲げられます。

注連縄奉納講奉賛者芳名

- 株式会社縄合屋
- 有限会社石森石村
- 有限会社新井瓦店
- アルカスコーポレーション株式会社
- キーリン製薬グループ工場株式会社井波工場
- 株式会社越路ガーデン
- タチフレックス
- チューリップ交通株式会社
- 大和トランスポート株式会社
- 加藤麻理嘉
- 有限会社かにや・アンヘルハート
- 株式会社川金
- 株式会社九谷屋
- 小西町子
- 有限会社さつき堂
- 株式会社三楽園
- 株式会社ジオミックス
- 株式会社島田木材
- 有限会社庄川建鋼
- 庄川自動車株式会社
- センター電子株式会社
- タカセ溶工
- 菓子蔵処田村萬盛堂
- 東洋通信工業株式会社
- とらみ観光交通株式会社
- 富山総合ビルセンター株式会社
- 中田 武
- 中村屋
- ナナンテアフルール
- 南部スタジオ
- 西部英子
- ニューイングランドたかた
- 日の出屋製菓産業株式会社
- 株式会社プライダルコアあなだ
- みたに美容室
- 株式会社みつ和
- 宮窪電気商会
- 森田建設株式会社
- 株式会社レックラヴィファクトリー

(順不同・敬称略)

前責任役員

石岡敬夫氏

富山県神社庁表彰

平成二十五年度の責任役員就任以来、永年に亘り神社の護持運営に寄与、地域より選出された役員として、地域、神社、相互の懸け橋の役割を担われました。

また、毎年の初詣参拝者受入れの際には、自らも昼夜奉仕する中、奉仕氏子の皆様に寄り添い、声をかけ、主導的立場を以て熱心に取り組まれました。



国幣社昇格百年を記念して計画され、令和五年に竣工した「御社殿屋根修復事業」では、各方面の調整役として尽瘁され、ご神徳の発揚に真心を尽くされました。

社報バックナンバーのご案内

当社社のホームページにてバックナンバーをご覧いただけます。祭典の由緒や行事の沿革など、過去の記事もご参考になさってください。 <https://www.takase.or.jp>





大国さまの処方せん ⑮

「運動のすすめ」

南砺市民病院 内科部長 丸山 仁

「お腹が痛い」「胃がもたれる」「食欲がない」「便秘と下痢を繰り返す」、内科外来にはこんな訴えの患者さんが多数来られます。一度は精密検査(胃カメラや腹部超音波検査など)を行い、重大な目に見える異常(潰瘍や癌などの器質的疾患)が潜んでいないか調べることは非常に大切です。しかし実際に異常が見つかる確率は一割もありません。ではなぜ症状が出るのでしょうか? 背景にはストレスが大いに関与しているものと考えられています。ストレスが自律神経(体温調節、心拍数や血圧の調節、消化・吸収などの体の働きを無意識に調整してくれる神経。「活動モード」の交

感神経と「リラックスモード」の副交感神経の二つがある。)のバランスを乱すと、「冷えやほてり」「めまい」「動悸」「疲れやすさや不眠」などの他、胃の知覚過敏や胃腸の運動機能低下を引き起こし冒頭のような症状に繋がります。

丸山 仁

南砺市民病院内科
(消化器科)部長。

富山市(旧大沢野町)出身、自治医科大学卒。当院には平成二十四年から勤務、十年以上にわたって南砺市の消化器診療および保健活動に従事されています。趣味はトレイルラン、テニス、スノーボードなどスポーツ全般。

医薬医療の神として知られる大国主大神(大国さま)のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。



古く節分は、「季節の変わり目」を表す言葉であり、立春が一年の始まりとする考えに基づき、この節目を特に「節分」と呼ぶようになりました。そして、季節の変わり目には災厄が生じるとの古い信仰から、現在も各地で豆まきなどの「追儺神事」が行われています。

越中一宮高瀬神社の豆まき神事に、どうぞご参加下さい。

とき 令和7年2月2日(日) 午後3時
ところ 高瀬神社 拜殿

今年は巳年、鈴緒にふれて干支まいりを

1月8日からは、初詣の参拝順路確保のために一時殿内に収納されていた「干支まいり賽銭箱」と「干支まいり鈴緒」が社殿前に戻ります。

巳年生まれの方はもちろん、他の干支の生まれの方もご自身の干支飾りにふれて守り神の癒しとお導きをお受け下さい。

杜のにぎわい



能登半島地震及び豪雨で被災された皆様から心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。



連載
鎮守の杜
のすたるじい
第6回

六十年前の初詣風景

元高瀬区長 石川 憲明

昭和三十年代の初詣は、車で参拝は稀であった。近隣の方は徒歩で初詣。高岡や砺波の方は城端線の福野駅で加越線に乗り換えるが、神社行き直通列車もあった。石動から庄川の加越線沿線住民は気動車に乗り高瀬神社に詣でた。

さすが越中一宮だけあって、県西部から三十万人以上の参拝客が高瀬神社駅に押し寄せた。その大半は大晦日から元旦に集中し、駅から拝殿まで長蛇の列だった。



仮設ホームから列車に乗り込む初詣客(昭和二十七年)

昔は高瀬村駅と言ったが、高瀬神社駅に改名。ホームは狭く、初詣時のみ五両編成の乗客が乗降できる仮設ホームを増設。叔父の家が高瀬

神社駅近くの参道に在り、親戚一族で穂宝や招き猫・福助の縁起物を販売。高岡発の蒸気機関車が到着すると、ポーツと汽笛が鳴り乗客の到来を教えてくれた。小学生だった私も従姉妹と一緒に寝ずの番でお店を手伝う。ご褒美のお年玉は格別嬉しかった。



晴れ着姿で奉仕する氏子の女性たち(昭和四十二年)

境内に青年団のテントが設置。団員は背広か和服姿。女性は髪を結い成人式用の晴れ着姿。店先に集まる酔客も満面の笑みだった。初詣客の多くは一張羅の洋服か和服姿であり、振袖の華やかな装いは、初詣の風物詩であった。年月が進み、交通手段は車社会に突入。昭和四十七年に加越線が廃線となり、高瀬神社駅は姿を消した。跡地に大鳥居が寄進され、昔の風景は大きく様変わりした。それでも今も変わらぬ情景が残る。

それは、高瀬村総出で初詣を支え続ける氏子の「奉仕の姿」である。

このコラムでは、氏子崇敬者の皆様よりお寄せいただいた、高瀬神社にまつわる「とっておきの思い出」をご紹介いたします。

ご奉納御礼

【初穂米】

【神饌米】

農事組合法人勸学院

代表 中田 幸礼 殿

【里芋】

岩倉 和弘 殿

以上の皆様よりご奉納を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

【浄財七萬四仟八陌七圓】

中川 哲之・朋香 殿

安産祈願
成の日カレンダー

1月	5日・17日・29日
2月	10日・22日
3月	6日・18日・30日
4月	11日・23日
5月	5日・17日・29日
6月	10日・22日

令和7年 腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。

令和7年 厄年・身祝一覧

〈厄年〉数え年

	前厄	本厄	後厄
男	24歳 平成14年(午)	25歳 平成13年(巳)	26歳 平成12年(辰)
	41歳 昭和60年(丑)	42歳 昭和59年(子)	43歳 昭和58年(亥)
	60歳 昭和41年(午)	61歳 昭和40年(巳)	62歳 昭和39年(辰)
女	18歳 平成20年(子)	19歳 平成19年(亥)	20歳 平成18年(戌)
	32歳 平成6年(戌)	33歳 平成5年(酉)	34歳 平成4年(申)
	36歳 平成2年(午)	37歳 昭和64年・平成元年(巳)	38歳 昭和63年(辰)

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えた年齢です。
*…この年を厄とする地域もあります。

〈身祝〉数え年

	年齢	生まれ年
遷暦	61歳	昭和40年(巳)
古希	70歳	昭和31年(申)
喜寿	77歳	昭和24年(丑)
傘寿	80歳	昭和21年(戌)
米寿	88歳	昭和13年(寅)
卒寿	90歳	昭和11年(子)
白寿	99歳	昭和2年(卯)

※男女ともに祝います。

表紙絵

「令和七年干支絵馬」。今年(令和七年)の目標は「蛇は一寸にして人を呑む」。

編集後記

セ・リーグ三位から二十六年ぶりの日本一に輝いた横浜DeNAベイスターズ。タイブ・球団オーナー南場

智子さんのチーム愛や経営理念、その人柄が注目を集めている。令和七年、DeNAファンのお屠蘇は果たして、一足早いビールとなるのか。(智)



新参集殿10周年

これからも新たな夫婦の幸福のために。



発行日 令和七年一月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291

TEL0763-8210933
FAX0763-8213304

印刷所 牧印刷株式会社



あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社

検索

